



# 花★めだか通信



公園愛護会  
キャラクター  
あいごぼん

～中区中土木事務所 公園愛護会便り～ Vol.49

## 第8回中区公園愛護会交流会が開催されました

日時：平成25年11月22日 13時30分～15時30分  
場所：横浜開港記念会館 1号室にて

中区長より皆さんの日頃の活動に対し感謝の言葉が述べられ会が始まりました。25年度の「横浜市公園愛護会表彰を受賞」された寿公園の村田会長(個人賞)と本牧町二丁目公園愛護会の小島会長(団体賞)が紹介されました。引続き「活動事例の紹介」に移り本牧町二丁目公園の小島会長からは、過去に開催したイベントのお話や現在の状況をお話いただき、無理なく楽しくをモットーにいつもお花のあるきれいな公園を保って行きたいとの意気込みを伺いました。

新山下二丁目ベイサイド公園の松澤会長からは、公園が地域のコミュニティの中心的存在となって活発に利用されている事、愛護会として各種講習会などを企画実践してきた事、近隣の小学生と共に公園清掃や樹名板作りなどの共同作業を行った事等のお話を伺いました。吉浜町公園の川崎さんからは、何年も前より公園の土壌改良に苦勞しながら園芸活動を行って来て今や中区で一番花の種類が多くあり、いつも花が咲いている公園を実現していること、その結果、近隣の保育園はじめ利用者が大変増えたこと、等のお話がありました。

### 「公園川柳コンテスト」の発表と表彰



左より三上区長、長谷川会長、原会長

交流会に先立ち「公園川柳」を前もって募集したところ94作品のご応募をいただきました。その中から区長賞1点、特別賞2点が選ばれました。いずれも力作ぞろいで審査には大変苦勞しました。その結果、区長賞には、豆口台公園の長谷川会長、特別賞には、新山下公園の原会長と豆口台公園の佐藤さんの作品が選ばれました。他に会場の参加者の投票により5点が選ばれました。(作品裏面)

### 講演「花・虫・鳥を楽しもう」北川淑子先生

ナチュラリストの北川先生による植物と生き物のかかわり方に関するお話。我々の身近な公園や住宅地でも見られる例をスライドに映し出し、分かりやすく説明してくださいました。植物は種の継続を図るために意味がある形状をしている事、特定の植物と虫、鳥などの生き物との間に緊密な関係性があることなど自然界の不思議な事例を挙げて、私たちがとかく忘れがちな生き物への興味や配慮の大切さを改めて思い起こさせてくれました。

愛護会の皆さんも自分達の公園で見られる草・花と虫や蝶の関係や花木や木の実と鳥の関係などを子供たちに伝えてあげられたら公園がより一層魅力的な場所になるような気がします。

身近な自然の中には、まだまだ私たちが知らない事がたくさんありますね。いくつになっても好奇心を向けるタネは尽きないようです。



開港記念会館1号室で行われた交流会



講演する北川先生

# 公園川柳 (公園愛護会)

《区長賞》

公園は絆を結ぶ憩いの場

豆口台 長谷川

《特別賞》

犬のフンちよっと居ぬ間にまたひとつ

新山下 原

公園の箒の跡消す落ち葉達

豆口台 佐藤

《参加者の人気投票上位作品》

《一位》

落ち葉掃き一日経てば元通り

中土木 白戸

《二位》

公園も我が家の庭と誇ら顔

本牧いずみ・たき 小林

《三位》

花植えを終えてニッコリ腰伸ばす

豆口台 佐藤

《四位》

公園の花壇の花に和まされ

野毛三丁目 寺林

《五位》

孫歩むつかずはなれず鳩一羽

本牧いずみ・たき 井高

親と子の絆深める砂遊び

本郷町ガス山 福住

(敬称略)

## 園芸講習会のお知らせ

江戸園芸、文化に触れる 《日本さくらそうの育て方》

日時:平成 26 年 2 月 20 日(木) 13:30~15:30

場所:中土木事務所3F会議室

講師:横浜市こども植物園 緑の相談員 水島 浩 先生



「さくらそう」は、日本の原野の湿地に自生するサクラソウの園芸品種です。

江戸時代に育種が進み白、桃、紅、紫、絞りなどの色変わりや大小さまざまな花形の変り品種が生まれ名がつけられました。数百に及ぶ品種が作られた古典植物です。現在栽培される約 300 種以上のうちその半数が江戸時代からの株分けで伝えられたもので、その花は多様な花型と繊細な花色が特徴です。

今回は、芽分け植え付けを実際に行い、1年間の育て方(管理のしかた)を学びます。また「さくらそうに」関する様々なお話を聞かせていただけることと思います。

募集人数:25名(愛護会員限定、申込者多数の場合は抽選) 申込方法:電話又はFAX 応募〆切:2月5日

結果発表:電話で連絡(2月7日までに) 中土木事務所TEL 641-7681 FAX 664-6196

## 仲尾台公園で堆肥置場づくり

10月22日、仲尾台公園で堆肥置場作りが行われました。

公園の中央にケヤキの高木が2本と周囲に桜の木がある仲尾台公園は、秋になると大量の枯葉が散り清掃作業が大変です。

これらの枯葉を集積し堆肥にして利用できるようにするために堆肥置場を作ることにしました。横浜市環境創造局公園緑地維持課支援班の指導のもと、すぐに腐食しないように焼いた杉板の煤をブラシで落としそれらの木材を電動工具を使って組み立てビス止めしました。今後、腐葉土が出来れば花壇の堆肥として利用するなど好循環が出来るようになるといいですね。



支援班の指導で電気ドリルを使っているところ

公園に堆肥置場を希望する愛護会は、中土木事務所にお問合せください。

中土木事務所 下水道・公園係

〒231-0023 横浜市中区山下町 246 TEL: 045(641)7681 FAX: 045(664)6196

作成日:平成 26 年 1 月 1 日